

かつて日本

は、製造業主導
の少品種大量生
産時代の波に乗
り、世界の工場

の役割を担うことで経済大国の地位
を手に入れました。その時代は、作業
のオートメーション化に伴い画一的
な仕事を正確にこなせる人材が求め
られ、よって教育においては大教室に
大勢の子供たちを集め、同じ内容を
一律に習得させるマスプロ教育が効
果的でした▼ところが、社会が成熟
し、サービス業主体の多品種少量生産
の時代を迎え、市場のニーズが細分
化・多様化すると、教育も個に最適化
した内容をITをはじめとした多様
な手法のハイブリッドで学ばせるも
のへとシフトしています▼しかし、教
育のスタイルが時代と共に変化する
一方で、その本質は決して変わって
いません。それは教師と生徒の関係を
糸、生徒同士の関係を緯糸にした、人
と人とが互いに触発し成長
を促しあう関係です▼人を
育てるのは人でしかない、
これは教育の不変にして普
遍の真理です。教育の可変
と不変とを見極め、子供た
ちが持つ可能性を最大限に
伸ばす教育を追求してい
きたいと思います。


<http://www.eisu.co.jp>

059-227-6444 (代)

(月~土 11:00~20:00 日 10:00~18:00)



TEL

since 1965

eisu

お問合せはWEBサイトかお電話で